

議会だより



屋久島

第45号

平成31年3月



寄り添って

写真提供：特別養護老人ホーム竜天園様（関連記事裏表紙）

▼ 皆さまの声
町政に活かします
意見交換会を開催して…2～3P

主な記事

- 第4回定例会…………… 4～ 5P
- 一般質問…………… 9～ 19P
- 常任委員会…………… 7P
- 全員協議会…………… 22P

町政に活かします



9会場に 182人参加 145の生の声

平成30年度 町民との意見交換会 11月5日～9日 町内9会場で

たくさんのご意見、ご要望をありがとうございました。

いただいたご意見、ご要望は、議会運営委員会で整理し、議会自ら取り組むべき課題は議会内で対応を検討します。

町政に対する事項は、町当局に報告し、特に必要のあるものは常任委員会で調査研究し、町政に反映させていきます。



意見交換会の会場

平成30年度意見交換会のテーマ

屋久島のゴミ処理について

ゴミ処理施設の現状と問題＝テーマにしたわけ

高い理想が破たん この事例を教訓に

全国に類のない新しい方式

現ゴミ処理施設（クリーンサポートセンター・志戸子）は、平成18年に38億円を投じ、「世界自然遺産の屋久島にふさわしいゴミ処理施設」として建設されました。クリーンエネルギーである水力発電の活用、資源の循環、最終処分量の最小化など、高い理想をう

たった「全国に類のない新しいゴミ処理方式の施設」でした。

循環するはずだった資源…

ところが、稼働して12年、循環するはずだった資源（主に可燃ゴミを燃やした炭化物）は島内に滞留、その保管と島外処理場に搬出する費用を含めた維持管理費が年間約3億円。

修理に高額費用

また、他に類のない施設であるため、不具合修理にも高額な費用が発生し、十分な手当てができていません。当初の理想は実現されないまま、償還残高（借金残）3億6千万円（平成30年9月末現在）を残し、稼働を続けているのが現状です。

少しでも長持ちさせるよう

平成35年度にこれに代わる新しいゴミ処理施設を建設する予定ですが、それまで、この不具合の多い施設を少しでも長持ちさせて稼働させなければなりません。そのために、町民の皆さまにゴミの分別をお願いしています。

議会は、この事例を教訓に次の段階に移るため、町民の皆さまの声を受け止め、町政に反映させていきます。

←町のホームページに情報があります



スマートフォンでQRコード読み取り機能を使うと情報が見られます

屋久島町廃棄物減量等推進審議会の議事録
ゴミ処理施設の今後や
分別の審議をする会

「ご意見の紹介」

意見交換会は、議会報告のあと、テーマに対する意見交換30分、自由意見の交換30分で行われました。一部を要約してご紹介します。

ゴミ処理施設について

- 新ゴミ処理施設の早期建設を
- 新焼却炉は全国で稼働している実績があるものを
- 島内で処理できる島内完結型を
- 現状のマイナスを検証して活かしてほしい

ゴミの分別とその他について

- ゴミの分別の説明会を開いて
- 高齢者には分別がむづかしい
- 町民は何故分別をしなければならぬのか分からない
- ゴミの最終処分はどうなっているのかゴミ出しポスターに掲載を
- 分別したことがどれほど役に立っているのか
- 生ゴミ袋が破れやすい
- 1枚30円のゴミ袋は高すぎる
- 外国語での分かりやすい分別標
- 示板の設置を

高校生の皆さまとの意見交換会

11月2日 屋久島高校

議会は、10代の若い方からの声を直接お聞きする「高校生の皆さまとの意見交換会」を開催しています。今年度も屋久島高校で声を聞かせて頂きました。一部を要約し紹介します。

議会▼要請する

高校前に横断歩道を設けて

ALT（外国人）
の外国語指導助手
の授業を増やして
議会▼要請したい

スクールバス
利用時の実態を
知ってもらいたい
議会▼「町スクールバ
ス運営等検討委員会」
で改善につなげたい



議会▼議会としても口永良部島
観光振興を当局に意見する

口永良部島まで観光客
が行けるようフェリー・太陽
の便を増やして

野球場を整えて
議会▼関係方面へ働きかける

小さな子供たちが遊
べる公園を造ってほしい
議会▼遊具が少ないことが実
態だろう。当局に声をかける

皆さまの声



《右2頁から続く》

自由意見 （抜粋要約）

- 県の防災マップも町民に配布を。土石流の対応の方が重要
- 津波の時の避難訓練の検討を
- 災害時の避難所には水や非常食、毛布もない、集落で準備せよということか
- 避難所を高台に造ってほしい
- 空き家の解体費助成より住めるための助成を
- 新庁舎移行後の各支所の利活用はどうなっているのか
- 光通信とWi-Fiのメ
リットを検討して設置を
- 町は箱物ばかり造ってい
る、借金と維持管理費が大変
- タバコのポイ捨て改善を
- 屋久島の水は海外企業に狙
われているのではないか
- 口永良部島の復興について
各課の取り組み計画は
- 海岸漂着物の問題を県・国
にも強く訴えてほしい
- その他集落独自の要望

町民との意見交換会 事前質問書に回答

「町民との意見交換会」開催の事前質問募集にご意見・ご提言をお寄せ頂きました。質問の要旨、行政当局の考え、議会の回答を簡潔に紹介します。ご質問者には、直接文書で回答いたしました。

尾之間 70代 男性

〔質問〕

老人福祉バスを議会は批判ばかりする

〔回答〕

全議員が制度に賛成です（議会）

〔質問〕

高速船運賃の値上げへの対応は？

〔回答〕

原油価格高騰による燃料油価格調整金の上乗せ価格で、現行制度ではいかんともしたいものです（町）

〔質問〕

宮之浦屋根付き運動場の現状は？

〔回答〕

31年度予算に工事費を計上する予定です（町）

中間 60代 男性

〔質問〕

公民館を診療所にできないか？

〔回答〕

衛生上、防災上等で困難です（町）
往診診療の充実等、診療所利用の体制作りを調査研究します（議会）

〔質問〕

陸上競技場が2か所必要か？

〔回答〕

宮之浦は利用者が多く、維持管理に大きな経費はかかっています（町）
2か所必要なのか等につき、ご意見を頂きながら調査研究します（議会）

〔質問〕

高速船料金値上げは法律か？

〔回答〕

事業者と陸運局の協議で決定。値下げ方法がないか種子島とも連携します（議会）

〔質問〕

旧庁舎の利活用の進展は？

〔回答〕

今年度中には方針を決定する予定です（町）
町民の皆さまが納得できる利活用に向け取り組みます（議会）

尾之間 60代 女性

〔質問〕

空き家あつせん窓口や住宅リフォー
ム補助金制度の設置を

〔回答〕

「暮らし体験住宅制度」を推進します（町）
先進地事例等を参考に空き家対策に取り組みます（議会）

安房 80代 男性

〔質問〕

ビニールハウス補修費の補助を

〔回答〕

個人で建設、取得した財産に対する補助事業は導入できません（町）

議会はこう審議しました

補正予算総額 6 億 2 千 645 万円の増額を認めました

町長専決処分 4,057 万円 一般会計補正予算 4 億 2,437 万円増 特別会計補正予算 1 億 6,149 万円増 《特別会計内訳》簡易水道事業 230 万円増 国民健康保険事業 1 億 2,220 万円増 介護保険事業 1,292 万円増 診療所事業 379 万円減 農業集落排水事業 2 万円減 船舶事業 2,775 万円増 後期高齢者医療事業 11 万円増

12 月定例会

あらまし

12 月 4 日から 14 日の会期で開催され、補正予算案 9 件、条例案 4 件、承認案 1 件、その他 6 件の議案が上程され、すべて原案の通りに可決された。

【本会議】
12 月 4 日・14 日：議案審議
5 日・6 日・7 日：一般質問

【常任委員会】
12 月 10 日・11 日

可決

小中学校にクーラーを設置する設計料 2 千万円

教育費 工事設計委託料・空調整備設計料

《内訳》中学校 681 万円、小学校 1 千 299 万円、幼稚園 20 万円

《説明》

八幡幼稚園と各小中学校の教室に空調設備を設置するための設計料です。

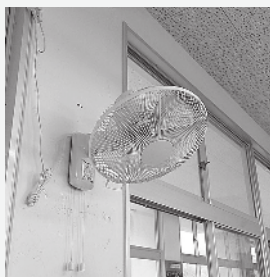
《質疑》



大角議員 今後の整備予定は。

教育総務課長 国の予算措置で、ブロック塀、冷房設備対応臨時特例交付金が新設されたので、設計料を計上した。

空調設備設置工事費、電源改修経費は設計する中で算出されてくる。31 年度に設置工事



現在、教室には扇風機が付けられています（岳南中）

みたい。

教育長 間に合うよう頑張ってみよう。

大角議員 31 年の夏までに間に合うのか。

岳中を除く 3 校で、普通教室が 18 室、特別教室が 28 室を計画。

可決

フェリー太陽の燃料費と修繕費 3 千 18 万円

船舶交通事業費

燃料費 2 千 60 万円・修繕費 スクリュー・リフトシンダー 958 万円

《説明》

燃料費は A 重油の価格高騰と台風で谷山港への避難等により追加が必要となったものです。



榎委員 運賃収入増加が見込まれる原因は。

財産管理課長

口永良部島災害復旧工事に伴う工事用機材の運賃増加。



岩川俊広委員 燃料の調達方法は？

財産管理課長

4 社を指名競争入札。

可決

新庁舎に防災無線システムをつける工事費 1 千 150 万円

防災対策費 工事請負費 1 千 150 万円 《内訳》県防災システム移設費 400 万円・防災行政無線移設工事費 750 万円

《説明》

現在使用している防災無線システム機器を新庁舎へ移設する工事費用です。

表示金額は 1 万円未満を省略していますので、合計金額は合いません

【補正予算とは】 年度途中で必要または不要になった収入や支出を予算に反映すること

「みんなのお金」の使い道

ふるさと納税の謝礼品代と手数料

可決

地域活性化対策費 ふるさと納税謝礼品代・管理配送
代行手数料・システム改修手数料 3千773万3千円

3千773万円

《説明》

ふるさと納税の謝礼品の費用と、受付配送業務を委託しているJT B他2社への手数料です。

《質疑》



小脇議員 屋久島町だ
すき基金（ふるさと納税）

の総収入額は。ふるさと納税手数料とは。

企画調整課長

ふるさと納税の昨年度実績は、1億8千533万円。

手数料は代行手数料でJT B他2社に支払うもの。昨年度手数料は1千569万円、総収入の8%。

小脇議員 手数料を払うのなら、職員を雇って課内で処理できないのか。

副町長 全国的なふるさと納税の仕組みであり、業者が受けて、自治体と連携してきた経緯がある。

寄付者は業者のサイトを通じて寄付をしてるので、現状のシステムを利用せざるを得ない。



【質疑とは】提出された議案について
不明点・疑問点をたずねること

可決

自殺対策の計画をつくる

委員の報酬

9万8千円

《説明》

国の自殺対策基本法で、市町村が、地域の実情に応じた自殺対策の計画を作るよう義務付けられたので、その計画の策定、推進を図る委員に支払う報酬を定めるものです。【特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正】

《質疑》



榎議員 策定はいつまでか。委員会の構成員は？

健康増進課長

30年度、31年度にかけて計画。委員構成は20名以内で医療、教育、福祉、司法、行政の関係者と住民代表を予定。

榎議員 策定が2か年にわたるのはなぜか。

健康増進課長 熊毛郡1市3町が足並みを揃える。町村については31年度までとなっている。

真辺真紀議員 『自殺対策推進協議会』は、年間何回開かれる予定か。



健康増進課長 『協議会』はこの条例を出した後に設置予定。今

年度内に1回開催予定。来年度にかけ2回ないし3回を予定。



真辺真紀議員 既設の『健康づくり推進協議会』も同じような回数で開催されているのか。

健康増進課長 2年ほど開催していない。

真辺真紀議員 協議会を設置しておきながら、開催されていないということが、自殺対策ではないようにお願いしたい。

下野委員 協議会からの選出は、委員構成に、考えていない。

健康増進課長 理由は。先行の県内市町

《常任委員会での質疑》



下野委員 委員構成に、考えていない。

健康増進課長 理由は。先行の県内市町

下野委員 理由は。先行の県内市町

健康増進課長 理由は。先行の県内市町

村を参考にしている。



岩川修司委員 他の市町では議会関係は入っていない。鹿児島市では議会関係は入っていない。

下野委員 予算を執行する上で、議会代表が入らなければ会の中身がわからない。

岩川修司委員 議会選出委員を入れるように検討を。

日高委員 屋久島町の自殺の年齢等の傾向は。



健康増進課長 平成24年からの5年で20名が自殺。16名が男性、女性4名。一番多いのが男性60歳以上。次が男性40歳から59歳。自殺未遂者はこの10倍以上だろう。高校生以下はこの20名の中にはいない。

下野委員 障害者で働けない方など、生活苦で亡くなる方がいる。手厚い対策を。

平成30年12月定例会 審議した議案とその結果

上程された議案・概要・結果 ○は賛成　●は反対　－は欠席	結果	真 辺 真 紀	相 良 健 一 郎	岩 山 鶴 美	上 村 富 士 高	大 角 利 成	渡 辺 千 護	石 田 尾 茂 樹	榎 光 徳	真 辺 有 次	高 橋 義 友	岩 川 修 司	小 脇 清 保	日 高 好 作	下 野 次 雄	寺 田 猛	岩 川 俊 広	
平成 29 年度電気事業特別会計未処分利益剰余金の処分	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 29 年度一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 29 年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 29 年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 29 年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 29 年度診療所事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 29 年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 29 年度船舶事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 29 年度電気事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 29 年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 30 年度一般会計補正予算（第 4 号）の専決処分事項承認	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
屋久島町宮之浦多目的集会施設等の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
屋久島町教育長の任命	同意	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
屋久島町教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
志戸子ガジュマル公園条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
一般会計補正予算（第 5 号）	可決	●	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	※
簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	可決	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	可決	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
診療所事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
船舶事業特別会計補正予算（第 3 号）	可決	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
電気事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	●	○	●	○	○	－	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	※
町立学校職員の給与に関する条例の一部改正	可決	●	○	●	○	○	－	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	※
商工会に対する平成 31 年度補助金等についての陳情書の取り下げ	許可	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
町議会／委員会議事録等の Web 掲載を求める陳情書	一部採択	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※

【※】議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。

常任委員会

【常任委員会とは】

町の仕事は様々な分野にわたっている。2つの常任委員会

が分担して本会議の前に事前審査をしています。最終的な意

思決定は本会議で行われます。請願と陳情の審査もしています。

4～5ページに掲載以外の質疑の一部を抜粋掲載します。

総務文教常任委員会

所属議員

寺田 猛 高橋義友
相良健一郎 渡辺千護
岩川俊広 岩山鶴美
榎 光徳 真辺真紀

付託された4件の議案はすべて原案通り可決されました。

高速通信回線整備は？



寺田猛委員長 ブロードバンドの回線整備は何年か。

企画調整課長 次年度以降検討したい。



真辺真紀委員 NTTのみではなく他の会社も参加できないのか。

企画調整課長 公募する。

学校のAEDパッド等の交換は？



岩山鶴美委員 学校のAED（自動体外式除細動器）のパッド交換は何か所分か。

教育総務課長 AEDバッテリーは永田小、金岳小、小瀬田小、岳南中、安房中。パッドは宮浦小を除く全小学校、全中学校。

屋久島高校入学者の島外募集は？



真辺真紀委員 入学者の島外募集はサイトだけでなく島外に出向いてPRする計画は？

企画調整課長 サイト運営は屋久島高校との協議が必要。島外でのPRは今年度アイランダー（日本全国の島々が集まる祭・東京）で行っている。来年度以降は離島の学校に入学を希望する子供や保護者の集まりがあるので参加を検討。

屋根付き運動場設計料が一般会計の歳出に変更された理由は？



真辺真紀委員 宮之浦屋根付きスポーツ施設設計料1千200万円が辺地対策事業

債でなくなった理由は？

総務課長 基本設計は起債事業にならないので一般財源で行った。

真辺真紀委員 1千200万円の予算を議決した時、辺地債を充当するので8割が戻ってくるとの前提で採決した。それを全部一般財源でというのは、最初から辺地債で充当できないと分かっていたのでは。

総務課長 説明が足りなかった。実施設計・工事費は2つとも辺地債が適用できる。基本設計は概算費用がどれくらいなのかを出すものであり、今回は基本設計なので起債は充当できない。

産業厚生常任委員会

所属議員

石田尾茂樹 小脇清保
上村富士高 岩川修司
下野次雄 真辺有次
日高好作 大角利成

付託された予算案8件、条例案2件はすべて原案通り可決されました。

町営牧場の受託料が減った理由は？



小脇清保委員 牧場の受託料の減額はキャトル（旭牧場子牛育成センター）の預託者が少なくなったからか。

農林水産課 受託頭数は若干減っている。町全体として数が減った。見込みが多かった。現在子牛の値段が高く、大規模の農家は預託しているが、少数飼いの農家は自分のところから出したいという希望がある。

小脇委員 値段が高いのはキャトルの手柄か。

農林水産課 そうではない。



日高好作委員 キャトルの飼育と個人飼育との差はないのか。

農林水産課長 獣医師の農家への指導も徹底して行われ、屋久島の現状が維持されている。頭数の少ない農家にも技術指導している。

極端な技術の差は出ない。牛は血統で値段が違うので元牛の血統のいい農家は高値で取引される。

旧山芋貯蔵施設の貸付は？



下野次雄委員 山芋貯蔵施設の貸付収入の今後は。

農林水産課長 利用者がいないか常にアンテナを張っている。借りたいという情報を得た場合は検討する。

屋久島町火葬場の残骨の保管は？



下野委員 死亡者は年間何名か。

介護衛生課長 150名～200名。今後は伸びが予想される。



岩川修司委員 残骨の対応は。

介護衛生課長 集落で違い、ほとんど持ち帰るところと残骨の出るところがある。骨壺に入りきらない分を持ち帰らないものを一定期間保管し、処理について入札をかける。保管場所は確保している。

【質疑とは】 提出された議案について不明点・疑問点等をたずねること

町民の声を 町政に

11人が質問しました

《一般質問》

一般質問とは、議員が町長などに、町民のための町政運営を進めているかを問い、チェックするものです。この記事の内容は質問した議員本人の責任において、質問および回答をまとめたものです。通告順に掲載しています。会議録は、議会事務局、町図書室、各集落公民館で閲覧することができます。ご覧ください。

●このような質問をしました●

防災	北、南分遣所職員の充足は
	津波襲来時の避難路整備を急ぐべき
	台風被害の現状と今後と防災対策を
	口永良部島の防災対策は
暮らし	光回線整備事業の着工は
	役場各支所のあり方・検討の進捗
	南部地域のラジオ難聴解消の取組み
	口永良部島一湊地区の簡易水道整備
	役場口永良部島出張所の機能
	空港滑走路延伸計画の進捗と展望
教育	成人式は午後開始にするべき
	山海留学訴訟の経過と今後の方針
	山海留学の責任の所在
	公立幼稚園の今後の在り方
	屋久島町教育振興基本計画の成果
	教育立町宣言をする考えはないか
	要保護児童生徒入学前支給はいつ
産業	今後の農業について
	農業被害対策は
	水産振興策について
	観光振興策について
	町の障害者雇用率は
その他	人口減少に歯止めを
	暮らし体験住宅の現状と今後
	町青年団の現状と今後の活動支援
	会議等の公開と議事録の公開を
	選挙管理員は公正公平か
	町政3期目への思いは

議会動向

平成30年12月～平成31年2月

12月	
3日	平成30年度産 屋久島ぼんかん鉄入れ式
4日	第4回屋久島町議会定例会開会 (～12/14まで)
	第10回全員協議会(尾之間支所)
9日	ニュージーランド派遣事業成果発表会 (文化村センター)
14日	第11回全員協議会(尾之間支所)
1月	
3日	屋久島町成人式(安房総合センター)
4日	平成31年仕事始め式(安房総合センター)
6日	平成31年消防出初め式(安房会場)
9日	種子島屋久島振興協議会振興対策活動 (鹿児島市)
2月	
7日	奄美・熊毛連携事業屋久島視察
8日	第1回臨時会(尾之間支所)
	第1回全員協議会(尾之間支所)
11日	菊陽町町制施行50周年記念式典 (菊陽町)
15日	種子島屋久島振興協議会第2回総会
	第66回県下一周駅伝大会熊毛チーム激励会 (鹿児島市)
16日	2019サイクリング屋久島(～17日)
	加納久宜知事没後100年慰霊式典(鹿児島市)
20日	県下一周駅伝大会熊毛チーム解団式 (鹿児島市)
21日	県町村議会議長会定期総会
	県離島振興町村議会議長会定期総会 (奄美市)
24日	第12回生涯学習大会 (離島開発総合センター)
26日	第1回熊毛地区消防組合議会定例会 (西之表市)

口永良部島の防災対策は

町長―夜間における避難も

想定する必要がある

問

新岳の夜間噴火に備えて
夜間の避難訓練を実施す
べきではないか。

町長

夜間避難訓練の実施
に向け、先進地であ
る鹿児島市から訓練の想定や
住民の状況等について情報収
集をした上で、集落や関係機
関と協議していく。

問

観光立町を掲げ目指すの
であれば、商工観光課を
観光専門の課として、観光の
知識等を習得した専門職を配
置する考えはないか。

町長―観光客誘致に向
けた各種施策に取り組
んでいる

観光振興策について

町長

平成31年度は、新庁
舎移転に伴い、組織
機構の見直しを行う予定にし
ている。

商工観光課は、観光まちづ
くり課に再編され、自然環境
保護を含め、利用と保護のパ
ランスを図るエコツーリズム
による観光振興の充実に努め
ていきたい。

専門職の人材配置は必要な
ことだと理解している。多様
化する観光客ニーズに対応
し、あらゆる角度から専門知
識を生かした観光戦略を立て
ることが出来る人材の確保は
必要であり、今後、検討して
いく。

問

フェリー波之上の就航実
績から今後の奄美との連
携をどのようにお考えか。

町長

乗船実績は、多い月
で90名、月平均で約
50名である。2月には、県大
島支庁と関係機関が構成団体
となる交流事業も行うことと
している。

航路の認知度が低いことか
ら、県、各関係機関と連携し
て乗船率の向上と航路維持を
していきたい。沖縄・奄美・
屋久島・鹿児島市内の世界遺
産を海路でクルーズで結ぶと
いうのが、1つの目論見であ
る。

フェリーを誘致するお考えは
ないか。

町長

水産物、農産物、そ
の他の貨物量がどの
くらいあって、夕方の便にど
のくらい積載できるかを、細
かなデータを集めたり、
現在、就航している貨物フェ
リーとの競合も考えられるの
で、今後検討をしていきたい。
船会社を訪問し、話をした
い。

水産振興策について

町長―今後検討してい
きたい

問

飛魚や水産品の鮮度保持
と価格安定のための、夕
方発の船便を漁業関係者から
切望する声があるが、貨物



いしだおしげき
石田尾茂樹 議員



安房港でのトビウオの水揚げ

津波襲来時の避難路整備を 急ぐべきでは

町長―早急に協議したい



まなべゆうじ 議員 真辺有次

では、早く万全策を講じる必要があると思うが。

問 災害種類ごと（地震・津波・台風・浸水・土砂崩れ等）の避難所を指定する必要があるのでは。

問 現在の町指定避難所の装備は十分か。

町長 現在、指定緊急避難場所はできていない。早急に行う必要がある。今後各集落と協議して指定していく。また、災害の種類ごとの指定はもちろん、避難所の再検討なども協議したい。

町長 尾之間支所と安房体育館に3日分の食料セットを14セット備蓄しているが各地区の避難所には配備していない。今後検討したい。

問 指定避難所の中で、特に海抜が低く大きな川に面している5集落（栗生・安房・宮之浦・一湊・永田）について

津波襲来時の宮浦小・中央の児童生徒や、この付近の住民が迅速かつ安全に高台避難所に到着できるように、避難路として使われる県道沿い歩道等の整備を急いでほしい。

町長 装備品も含めて順次整備していく事になっているが、スピードアップしたいと思う。

意見 停電時の避難者の不便解消のため、指定避難所に一定容量の自家発電機を早急に配備すべき。

問 津波襲来時の宮浦小・中央の児童生徒や、この付近の住民が迅速かつ安全に高台避難所に到着できるように、避難路として使われる県道沿い歩道等の整備を急いでほしい。

町長 これまで宮浦小・中央の避難訓練結果から避難路が狭く支障となっていることは聞いている。歩道の拡幅は重要であると考えている。

また、両校及びPTA・平和町地域の皆さんで、「平和町海岸地域津波対策協議会」を発足させ、対策に取り組んでいることは、地域住民の防災意識の高揚が図られ、大変心強く感じている。具体的なことは協議会と協議しながら対応策を検討してまいりたい。また、可能な範囲で協議会の活動もサポートしていきたい。

現在避難路として歩道は植え込みがあつて幅員が狭く、地域の方々や小中学生の避難者が集中する場合は非常に混雑し高台避難に時間がかかり、大惨事を招くことも想定されるので、歩道の拡幅を急ぐべきでは。

町長 街路樹を撤去し歩道を広くするため、早急に協議したい。

南部地域のラジオ難聴解消の取り組みは

町長―進んでいる。これからも進めていく

問 防災上また、災害時にけるラジオ放送の果たす役割は大きいものがある。南部地域の難聴解消の取り組みはどうなっているか。

町長 特に、災害時におけるラジオ放送の役割は大変大きいと思う。NHKは8月から調査用設備を設置して12月頃から試験電波の受信調査を行うようになった。これから難聴解消に向けて取り組みを進めていく。

今後の農業について

町長―問題点を整理し

内部で検討していく

問 台風被害があった農家への保険の一部支援について。

町長 災害の備えは農家個人が行うことが原則である。農業救済制度等に、備えるための制度がある。しかし、被災された方々への支援は、町として行っていない。関係機関と連携をし、周知を図る。

問 後継者がいない農家は、樹園地等が廃園になっていくが、農業振興を考える町長の考えは。

長

町長 平成27年度より、農地中間管理事業に取り組んでいる。樹園地の土地の流動化が進んでいない。担い手の農地集積、集約化の取り組みを推進していく。研修制度の受け入れ体制等の細か

い部分でクリアできず、実施に至っていないので、問題点を整理し実施可能か内部で検討していく。

農林水産課長 課内・関係機関も含め、検討会なり実施して後継者をつくることを推奨するための施策を打ってきたい。

暮らし体験住宅の現状と今後は

町長―移住・定住対策は重要と考える



さがらけんいちろう
相良健一郎 議員

問 暮らし体験住宅の現状と今後について

町長 永田・船行・平内・小瀬田の4棟で制度を開始している。現在まで13世帯20人が利用し、島内に転居した方が8世帯10名、現在も入居者が3世帯7名である。今後の町づくりにおいて、移住・定住対策は重要な施策であると考えている。

企画調整課長 わずか1年の入居ですし、4棟しかない。希望者も多いという事を考えると、かなりスピードアップして対応するべきと考えている。

問 現在の戸数から増やすことは考えていないのか。

企画調整課長 このような良い取り組みが安定して運用できているので、今後は集落や役場内の調整を進め、少しずつ良い形で増やしていく考えである。

問 1年間で退去し、次の方が入居まで空白の時期を最小限にできないか。



平内の定住促進住宅



かみむらふじたか
上村富士高 議員

人口減少に歯止めを

町長―効果的な事業や制度を検討する

問 この2年間で人口が約300人減少しており世帯では50世帯減少している。町の今後の対策は。

要保護児童生徒の
入学前支給はいつ
実施か

教育長―平成31年2月
中に支給する

町長 町の存続にかかわる大変由々しき問題である認識している。本町としては当面は現在進めている施策の効果を検証しながら地道に取り組み、さらに効果的な事業を制度としていけるように検討を重ねていきたい。

教育長

平成31年度、今度の入学児童生徒を対象

問 入学前支給は、屋久島町はいつ実施し、対象者は準要保護児童生徒まで入れるのか。

町長

即答はできないが、内部で検討をして、やはりそういう補助金が出せるように検討をしたい。今少し時間をいただきたい。

に平成30年11月下旬までに申請をしたものについて審査を行い、平成31年2月中に支給を行う事務を進めている。

農業被害対策は

町長―詳細な検討をす

る

問 台風被害でビニールハウスや小屋の倒壊などに補助はできないか。



台風被害で倒壊した大型の倉庫



台風被害に遭ったビニールハウス



台風被害で倒壊した倉庫の解体

町の障害者雇用率は

町長―法定雇用率をクリアしている

問 自治体は働く人のうち、一定割合以上の障害者を雇うことが法令で義務づけられている。2017年度の自治体の雇用率は2.3%になっているが、屋久島町役場の障害者雇用率はいくらか。

町長 本年度は^{2.57}%で法定雇用率をクリアしている。

問 31年3月完成予定の新庁舎のバリアフリーは基準を満たす設計になっているのか。

町長 新庁舎のバリアフリー対策は、設計の段階から協議を始めており、出入り口の段差、エレベーターの設置、車椅子利用者が安全に通行できる広さ、トイレの非常用通報装置の設置、視覚障害者対策として敷地内点字ブロックの設置など全ての基準を満たしている。

台風被害の現状と今後 防災対策を

問 町内における台風24号の被害状況は

町長 小瀬田で最大瞬間風速44㍎。永田で3時間雨量240㍎を記録するなど公共土木施設や農業などへ甚大な被害が出た。被害額は、農作物ではポンカン・タンカン、ウコンなど総額600万円余り、農業施設町営牧場など4千800万円、農道・林道など13路線で1千700万円、町道では16路線で約3千万円、漁港が3か所で約230万円、永田港が4億5千万円。

町全体での被害総額は約5億9千万円にのぼる見込み。

問 永田港の改修は。

町長 被害を受けた防波堤の復旧は公共災害復旧事業を国に申請し事業の認定を受ける予定になっている。

問 吉田港の船揚場は。

町長 近年東シナ海の潮位が上ってきていると言われている。町も堤防の嵩上げをするなり、波消しブロックを入れていくなり何かしらの形でやっていかなければいけないと現場を見て思っている。

問 榑川港の擬木のガードレールの補修は。

町長 早急にします。

問 一湊大浦地区に避難所を造るべきでは。

町長 災害対策基本法では、各自自治体の切迫した災害の危険から逃れるための指定緊急避難場所と、一定期

間滞在し避難生活を送る指定避難所を指定するように義務づけられている。安全な避難先を確保する観点から、大浦地区における避難施設について今後検討していく。

問 一湊大浦地区に防災のヘリポートを造る考えはないのか。

町長 緊急時にヘリコプターが離着陸可能な場所を町内各地にできるだけ確保することが重要となるので、今後も離着陸の調査・指定に努めていきたい。

吉田港で高波に流され転覆した遊漁船



たかはしよしとも
高橋義友 議員



屋久島空港滑走路延伸計画の進捗と展望は

町長―今年度内にエプロン・ターミナルビルなどの配置案がまとまる

問 ジェット機就航可能な滑走路延伸事業化の進捗状況と今後の課題や展望は。

町長 県は、平成27年度から延伸計画実現に向けて、順次各種調査を行っている。今年度中に、2千㍔の滑走路でのターミナルビル等を含む配置案がまとまる。今後は、環境影響評価調査と土地取得に多少の時間が必要となる。

問 航空会社への働きかけは。

町長 事業化には路線開設の確約が必要であるので、各航空会社に精力的に働きかけている。格安航空機での首都圏からの成田便や、奄美大島・沖縄からのインバウンドの需要も視野に関係機関との関係を密にして早期事業のスピード化を図りたい。



寺田 猛 議員

問 空港周辺の県道沿いに、完成予想図を含めた「屋久島空港ジェット化早期実現を！」を明記した大型の看板を設置して機運の盛り上げを図ったかどうか。

町長 いい提案だと思うので、配置案が示されたら完成予想図を作成するなどの屋久島全体で誘致運動を実施したい。

光回線整備事業の着工は

町長―31年7月着工で進めている

問 超高速ブロードバンド基盤の整備事業導入の進捗

状況と今後の展望は。

町長 総務省が有人国境離島市町村に対して実施する事業を導入し、民設民営方式で31年の7月に着工出来るよう準備を進めている。屋久島内の全戸整備に係る期間は交換局ごとに整備した場合約2年必要。早期の全戸整備に向け具体的な整備計画と予算化を進めている。

問 口永良部島地区の光回線はどうなるのか。

町長 先ずは、海底ケーブルの施設整備が必要である。活火山の島であり、気象観測上の必要性を訴えて、国策での整備を働きかけている。2、3年待つてもらいたい。

口永良部島と一湊地区の簡易水道整備は

口永良部島は31年度から実施・一湊地区は33年度から実施する予定

問 口永良部島地区と一湊地区の簡易水道施設整備事業のタイムスケジュールと今後の展望は。

町長 口永良部島地区は、平成31年度から、約4億2千万円の事業費で実施する。整備内容は、降灰対策を考慮した、水源地の新設、排水管路の全面改修、集中監視、クラウドシステムによる中央監視施設の整備を計画している。

一湊地区は、33年度から吉田・一湊・志戸子地区を統合して北部地区上水道事業として施設整備を予定している。整備内容は、一湊地区に大雨でも取水可能な水源施設を新設し、急速濾過機、前処理機を導入し、志戸子・吉田地区には一湊地区の浄水場から送水管で給水し、集中管理システムで24時間中央監視して安定供給する計画である。

山海留学の責任の所在は

教育長―裁判を通して明らかにする

問 山海留学のマニュアルの素案には責任の所在が明記されていない。それではマニュアル作成の意味がないと思うが。

問 今係争中ならば、この山海留学制度を一度ストップするべきだという議論が9月議会であった。

教育長 補助金の支給は町が、実施委員会の事務局は教育委員会が受けているが、決して原告が言う実施主体ではないと考えている。町が実施主体であるかないかを裁判で争っている。

責任の所在を明確にすることなく現在の留学制度も継続していて、なおかつ来年度の募集もかけているというところが非常に注目するべき点である。

今いる留学生への対応、来年度来る留学生への対応としては、全くこの裁判とは関係がない。来年度の対応として責任の所在をはっきりするべき。

教育長 今の体制は、各実施委員会が実施主体だと認識をしている。

役場各支所のあり方・検討の進捗は

町長―年度内には方針を決定し報告をもらう

問 窓口機能がどの場所になるのかは決定しているのか。

庁舎建設推進室長 宮之浦支所については、今現状、使える施設として、保険センターか建設庁舎の1階部分。安房支所については、現状で。

尾之間支所は、保険センターを活用した窓口の開設ということを検討している状況。

問 宮之浦支所は、どんなふうに今後継続して使用していくのか、それとも解体するのか。

町長 検討委員会で議論をしている。その議論を受けてそれから決めていく。

問 町の庁舎が新庁舎と合わせて5か所の大きな建物になるが、維持管理費はどれくらいか。

町長 新庁舎は概算で880万円。現本庁はし尿処理施設の管理費含め2千50万円。宮之浦支所は850万円。安房支所は1千30万円。尾之間支所は1千200万円。

意見 検討委員会の回数を増やすなどして議論

を急ぐべき。

会議等の公開と議事録の公開を

町長―公開していきたい

問 支所庁舎活用等検討委員会、廃棄物減量等推進審議会などの会議等の公開と、傍聴の許可、合わせて議事録を作成して町のホームページで公開することを求める。

総務課長 会議は原則公開。傍聴は可能。了解を得て公開するようにしている。

問 委員会の日程を事前に知らせる仕組みを作りたい。

総務課長 今後やっていく。各審議会を持つ所管課にも原則公開という事で周知をしている。

一般質問



まなべまき 議員 真辺真紀

選挙管理委員は公正公平か

町長―公正である

問 2年前の貴方のリコール署名の時の選挙管理委員会の第8回臨時委員会の議事録を事前に渡しているが、読んだ感想は。

町長 何ら不公平にやっていることはなく、公正であると思う。

問 これが公正だったらあなたはおかしい。公正であるべき選挙管理委員会は成り立ちません。

選挙管理委員会が、署名を集めた受任者に、その署名に



こわききよやす
小脇清保 議員

出頭を求めても、本日の事は言わないであろう。委員4人が分担して訪問して証言を集める方法でよいのではないか」と決議した。その結果、受任者の主張を聴くことなく、複数の署名が無効とされた。

山海留学訴訟の経過と今後の方針は

町長―主張すべきは主張する

問 県内に12ある自治体の中で屋久島町を除く11の自治体でその責任を認めている。実施主体が町ではないということとで争えば、里親をはじめ関わった人すべてに責任が及び多数の不幸な人を作ってしまう。公費の出金を反対する議会ではないと思う。良い方向での和解を提言する。

町長―主張すべきは主張する

問 久島町を除く1の自

治体でその責任を認めている。
実施主体が町ではないとい

うことで争えば、里親をはじ

及び多数の不幸な人を作つて

る議会ではないと思う。良い

方向での和解を提言する。

町長 主張すべきは主張し、判断が出たら判断は

きちんと尊重をしてより良い制度にして続けていくつもりである。

町の法務事務専門員の制度は正しいか

町長―何ら問題がない

問 町の法務事務専門員は弁護士登録をしていないと聞いて

で、軽くみられることはないのか。

町長
そういうことはない
と思う。

問 顧問弁護士料は、通常月額2〜3万円程度と聞く。

我が町の法務事務専門員は月額12万円である。登録料を町で負担して弁護士活動をしてもらうのも一つの案だと思うが。

町長 法務事務専門員として決して高い金額ではな

いと思っている。本人の承諾があれば今後も任用していく。

町長リコール署名26人不足

選管発表、無効331人分

民意のゆくえ
屋久島から

有効有効が暮れたとき
を問う署名「26人不足」を
求める会、の田正統表
(三)川又隆昭

歴久町が定める審査計画の適用しを断る住民
団が、荒木町長1人の解職請求、リコールを求め
て集めた3000人分の署名に、町選管発表
員は19日、審査の結果、有効署名数は331人だ
と発表し、告示した。有効とされた署名はリコ
ールの要件となる数を26人回っており、住民団は
選管に対し異議を申し立てる方針だ。

住民団体 異議申し立てへ

リコールの署名は、歴久の1人以上なる3000人
島の未発表である(松田正統表、が9月20日、
1方目開けて集めたもの
で、10月31日に町選管に提
出された。リコールには有
効署名1万793人の3分
31人分を無効と判断し

た。
町選管の最も多いと、無効と
なった理由も多かったのは
重複署名で、822人、誤り
で、選挙人名簿の未登録者
が44人、自己記入の代
筆を頼んだ人が29人、署名
集めが認められた受任者以
外が集めた署名が25人など
だったとい。

これに対し、住民団体は20
日、町に署名を解職し、無
効とされた署名を調べ、町
選管に異議申し立て、リ
コールに必要な署名を確
保する方針を決めた。松田
代表は、"彼らは、き何
とかなる数字、無効とされ
たとはいえ、勇気を持て、
リコールの署名に協力して
くれた方々の恩恵を一切に
したい"と語っている。

歴久は住民団体の異議
申し立てを審査し、最終
の有効署名数が確定す
る。審査期は20日まで。
屋久島選管員、武田剛

屋久島町町長リコール署名活動について報じる当時の新聞記事(朝日新聞鹿児島版 2016 年 11 月 20 日)

北・南分遣所職員の充足は

町長―限られた人員で適正に対応していく

問 北・南分遣所職員の充足は

町長

熊毛地区消防組合の消防職員の充足率は、基準数173名に対し96名で充足率は55.5%になる。

本町の分遣所に換算した場合、基準値は28名となり現在16名の職員が勤務しているの

で充足率は57.1%になる。救急

車の出場回数は年々増加傾向で、平成20年の両分遣所の救

急出場回数は556回。平成29年には837回まで増加している。

基準定数を満たすほどの大

幅な人員増は財政面を考慮す

ると不可能な状況。今後に限

られた人員で適切に対応でき

るように組織のあり方や勤務

体系の見直し、職員採用や人

員配置等について、必要に応

じて熊毛地区消防組合と協議

をしていきたい。

問

55.5%の充足率は県内で下

から3番目にあたる。

同時出場、いわゆる救急車

が病院に行つて帰つてきてい

合と協議していきたい。

公立幼稚園の今後の在り方は

教育長―幼稚園としての教育効果が期待できるうちは継続したい

問 公立幼稚園の今後は

教育長

町立八幡幼稚園のあり方審議会は3回開催し、平成27年2月に町長に答申している。

一つ、保護者等の要望にの

るべく早急に預かり保育を

実施するべきである。

二つ、幼稚園教育は重要な

行政領域であるが、それが町

民の負担によつて財源調達さ

れている以上、人件費も含め

て最小の経費で最大の効果を

上げるよう経費の効率化につ

いて勇往邁進すること。

三つ目、短期的な見直しで

幼児数は減少傾向にあること

から、現時点において八幡幼稚園の閉園は時期早尚であると判断する。

四つ目、運営努力をしても園児数が減少し、教育目標を果たせないと見込まれる場合は閉園等の検討を行うという内容だが、園児数は現状維持のままで幼稚園としての教育効果が期待できるうちは継続していきたい。

意見

決算審議会で幼稚園費が1千777万6万円、

人件費が1千672万円か

かっている現状の中で教育の

ことを費用対効果を強く言う

訳ではないが、答申の中で預

かり保育の時間を16時45分ま

でにするという内容は中途半

端すぎる。

成人式は午後開始にするべきではないか

教育長―アンケート調査などをして検討したい

一般質問



いわやまつるみ 議員
岩山鶴美



えのき みのり 議員
棟 光徳

屋久島町教育振興基本計画の成果は

教育長―外部評価では概ね良好

問 平成22年に作成された本計画は31年度で終了となる。前期、後期5ヶ年ごとの成果をどう捉えているか。

「子どもたちが登校し、納得して下校できる学校

教育長 3つの重点策と7つの具体的取り組みを行なってきたが、外部評価委員会で概ね高い評価を得た。

問 次期基本計画の策定は、

教育長 新学習指導要領の下、主なものは、学校教育では英語力の強化、社会教

育では32年国体等新たなものも取り入れ、31年度中に策定する。

問 町指定文化財を県・国指定へ押し上げることにより、観光面他さまざまな波及効果があると思うがその対策は。

町長 県教委への継続的な情報提供と要望書による一歩踏み込んだ情報提供も必要と考える。

教育立町宣言をすすめる考えはないか

町長―次期計画に合わせ宣言に向け検討したい

観光基本計画の進捗状況は

町長―着実に実施していきたい

町長 エコツーリズムの基理念に沿い進めているが、山岳部利用の在り方や、協力金制度、マイカー規制等屋久島独自のルール作りに取り組んでいる。又、口永良部（寝待温泉等）復興を含め、基本計画に沿って着実に実施していきたい。

問 平成32年、35万人の数値目標の達成をどう考えるか。

町長 有人国境離島法の活用や、オリンピック開催等を見据えて、SNSや旅行者媒体との取り組み等強化したい。

問 屋久島町観光推進会議の設置はどうなっているか。

町長 平成31年度中に発足するよう担当課に指示している。

問 黒潮連携とは。

商工観光課長 鹿児島市、屋久島、奄美、沖縄をクルーズ船で結ぶ「世界遺産クルーズ」実現に向けた連絡会である。

意見 今後の観光振興に合致した計画であり、職員間で横断的取り組みをし頑張る。頑張る。

町青年団の現状と 今後の活動支援は

教育長―組織再編の助言や支援が必要
町長―補助金の予算化を検討

問 町青年団連絡協議会並びに各集落の青年団組織の現状はどうなっているのか。

教育長 町青年団連絡協議会は町青年団連絡協議会名称として残っているものの、ここ数年は活動実績がなく平成26年度から町補助金は支給していない。

地域青年団は13団体が活動し、地域の担い手として熱心

な活動を続けている。

問 青年団活動に対する今後の活動支援をどう考えているか。

教育長 今後は本町の青年層が活発な活動を続けられるよう県内の青年団活動の情報を得ながら、町青協として組織を再編する助言や支

援を行う必要があると考えている。

問 青年団への手厚い支援が必要と感じるが、町長の思いはどうか。

町長 社会教育的助言と支援を行う必要がある

と思っている。自主的な組織再編に繋げる必要があると考え、その方向性に構築されるならば、再度町青協に対する助成金の予算化についても検討する必要がある。

役場口永良部島出張所の機能は

町長―来庁しやすいよう検討する

問 所長1名の執務体制であるが、公務又は休暇等による不在時の窓口対応はどうしているか。

町長 出張所を不在にする

ことも多いなか、電話や伝言板での細かな対応を行っている。これまで1週間程不在にすることもあり、住民サービス低下が心配されるので、臨時職員若しくは派遣職員も含めて検討する必要がある。

問 出張所は建物2階にあるが、このことをどう思っているのか。

町長 高齢者等には階段の上がり下がりで負担

になっていると思う。伝言板を1階入口に掲示するなど配慮している。

問 出張所を診療所と併設することで、双方職員が連携してより良い住民サービスが提供できると思うがどうか。

町長 今後は両施設を近接して配置し、複合的な施設として町民が来庁しやすい所となるよう検討したいと思っている。

町政3期目への思いは

町長―今は残された任期を精一杯努めたい

問 次期町長選挙に対する現時点での思いはどうか。

町長 残り1年弱ありますので今は残りの期間を精一杯努めたいと考えている。



おおすみとしなり
大角利成 議員

10月22日～29日

【決算審査特別委員会とは】

すでに使われたお金ですが、不適切なものや非効率なものがあれば、質疑を通じて明らかにして、お金の使われ方を効率的なものにしていく審査です。

所属議員	
石田尾茂樹	委員長
真辺有次	副委員長
渡辺千護	
大角利成	
上村富士高	
岩山鶴美	
相良健一郎	
真辺真紀	

平成29年度決算

未来につなげるお金の使い方になっているのか？

現地調査 18か所

検証

平成29年度一般会計と各種特別会計の歳入歳出決算の審査を行い、予算の適正、効果を検証し、すべての会計を原案のとおり認定しました。質疑を一部抜粋して掲載（金額は事業予算の額）。

育英奨学資金貸付金の滞納分の回収に全力を（滞納額2千900万円）

委員会指摘事項 育英奨学資金貸付

残高が30年度には、滞納者数92名、3千万円を超えている。昭和39年度貸付分もあり解消は大きな課題。全庁的な取り組みで滞納者への対策を。

石田尾委員長 収納対策について説明を。

教育総務課長 催告書を出し、連帯保証人にも通知している。

大角委員 ただ催告だけではどうなのか。現金を借りているわけだから、連帯保証人の呼び出し、本人との連絡など努力してやるべきだ。難儀をして奨学金を借りないで子供を進学させた親からすると非常に不平等だ。過去に、

奨学金のかなりの未納が職員の努力でゼロ近くになったことがあった。努力してもらいたい。連帯保証人は親が多いので認識が低い。

真辺有次副委員長 規則規程の中に連帯保証人は3親等以外の者を1名とすべき。

石田尾委員長 社会人なら給与差し押さえもできるのではないか。

水耕栽培野菜を町民に広く知らせて（860万円）

真辺真紀委員 現状と今後の見通しは。

企画調整課課長補佐 実証実験で野菜は計画的に採れるが予想以上の電気代が判明。島内需要が見込めるかが力ギ。

事業可能となれば事業者の公募を行う。真辺真紀委員 町の取り組みを町民に知らせ興味を持ってもらうことが大事。

真辺有次副委員長 地元の人が知らないものは特産品にならない。口コミで増やす。

企画調整課課長補佐 見極めていこう。事業化に向けて進めていきたい。

観光事業への多額投資は効果を考えて

大角委員 観光事業に多額の投資をして

いるが、入込客数が減っている要因は。

商工観光課 奄美の世界遺産の影響もある。交通費が高額なのも課題。

大角委員 屋久杉自然館は歳入に対し倍以上の費用がかかっている。歳出を抑える運営を議論し、何千万もつぎ込む投資効果を考えるべき。

農産物の屋久島ブランドの効果は？

真辺有次副委員長 屋久島ブランド産地定着化事業の効果は。

農林水産課 タンカンには鹿児島市場以外の販売先をJAが開拓したので価格も安定し、消費者の感想も良く、屋久島のタンカンが定着してきている。バレイショも、他の産地が暴落しても屋久島産は安定した価格だった。

友好都市との交流はマンネリ化？

真辺有次副委員長 菊陽町との交流がマンネリ化していると聞く。毎年同じ人が行く。

大角委員 以前は行く団体を毎年変えていた。産業を通じてお互いが活性化する

ために様々な職種や世代で交流すべき。

企画調整課長 庁内で協議する。

危険家屋、解体だけではない対策を（150万円）

上村委員 解体の補助金の予算は。

建設課長 30年度分は、現在相談を受けている分ではいい。

真辺真紀委員 空き家対策協議会を立ち上げる話の進捗状況は。

建設課長 非常に遅れている。

真辺真紀委員 解体する構想だけでなく、移住者を呼び込む対策等を考えるためにも早期の協議会設置を。

暮らし体験住宅の入居者の精査を

上村委員 体験住宅を増やす予定は。

企画調整課長 現在の4棟をきっちりやっていく方針。

真辺有次副委員長 入居者は精査すべき。

企画調整課係長 倍率は4～5倍。子供がいる家族世帯を優先。高齢者より若い人。電話での聞き取りも。現在結果的に、地域になじんでいる方々も多く、今の選考方法で問題はない認識だ。



先進地から学ぶ

総務文教常任委員会の所属議員が視察しました

平成 30 年 10 月 14 日～ 18 日

テーマ

移住定住促進、空き家バンク、子育て支援の取り組み
大崎海星高校魅力化推進事業等の取り組み

香川県小豆郡土庄町 人口 13,000 人 高齢化率 37%

定住促進策で 239 名移住 H29 婚活イベントで 102 組カップル誕生

定住移住促進策として、空き家バンク登録制度、
空き家リフォーム支援事業、移住定住促進住宅賃貸
補助金制度、移住体験の家の貸出がある。

地域おこし協力隊員がイベントで若者への移住呼
びかけ。子育て支援は、出産祝金他支給。婚活イ
ベントを過去 13 回開催し延べ 560 人参加、カップル
誕生。0～3 歳児の子育て支援センター設置。

視察を終えて



- ☐ 本町においても一歩踏み込んだ具体策
を講じていく必要がある。
- ☐ 精査・研究し、参考にする余地が大いにある。

広島県大崎上島町 人口 7,500 人 高齢化率 47%

島の高校 統廃合の危機 手厚い支援で教育の島へ

島の県立高校は生徒数の減少で統廃合の危機にあっ
たが、平成 26 年度に協議会を設置、教育の島構想を
打ち出し、公営塾（無料）の運営、生徒の全国募集、
学生寮の設置（4 億円）運営等、手厚い支援を行った。

67 名だった生徒が 101 名に。塾、学生寮のスタッ
フには地域おこし協力隊員を起用。生徒数 300 名
の中高一貫教育、全寮制学園も誘致し来春開校する。

視察を終えて

- ☐ 屋久島高校の位置付け、支援策
等を含め、教育行政の在り方につ
き再認識し、大いに参考にすべき。



産業厚生常任委員会の所属議員が視察しました

平成 30 年 10 月 9 日～ 12 日

テーマ

ユズで地域興し 杉間伐材の商品開発・販売
自然生態系農業の取り組み

高知県馬路村 人口 900 人 高齢化率 39%

ユズのブランド化に成功 地杉の加工、製作、販売、アイデアで

J A が青果として売れなかったユズの加工販売
を始めたのが 1975 年。現在 300 種類を超えるユ
ズ製品の開発販売。町と J A が手を組んでユズの
ブランド化に成功。平成 17 年売上 30 億円。

優良な杉の産地。第 3 セクターで地杉の加工、製作、
販売を行う。全国展示会への出店、公共施設の外装
の木質化等、積極的なアイデアで林業活性化を推進。

視察を終えて

- ☐ ぼんかん、たんかんを 6 次産業化し発展させる必要がある。
- ☐ 本町の工芸にも参考になるが、かなりの投資も必要だ。
- ☐ 屋久島の地杉の製品、商品開発に参考になる。



宮崎県綾町 人口 7,100 人 高齢化率 32%

全国の消費者からの信頼 町が J A S の有機認定機関に登録

綾の農産物は、認証基準を設け、認定シールを貼っ
て出荷。町が J A S の有機認定機関に登録され、安
全でおいしい野菜の提供で、全国の消費者からの信
頼を得ている。平成 27 年度ふるさと納税が 13 億円。

町にある「綾手づくりほんものセンター」では町
内の新鮮な野菜や果物、自然食品や加工食品を販売、
年商 3 億数千万円。地産地消の実践。

視察を終えて

- ☐ 屋久島ならではの特産品も生産から 6 次
産業化まで積極的に取り組むべき。
- ☐ 屋久島町の一次産業の振興に活かしたい。



【高齢化率とは】 65 歳以上人口が総人口に占める割合 屋久島町 33.6% 鹿児島県 30.8% 全国 27.7% (2017)

町から政策の補足的説明を受けたり、議員の意思統一を図る会議。

山海留學生からの訴訟 和解金支払へ

八幡小じょうもん留学の留學生が負傷し、町と里親2人が損害賠償を求められた事件の和解に向け、町が負担する和解金について説明がありました

山海留學中の留學生の目の負傷について、町と里親が損害賠償を求められている裁判で、大阪地方裁判所から和解案が出されました。和解を成立させるために、町が負担する和解金の支払いについて、議会の議決を求める必要があるとのこと説明がありました。

肯定する余地があるとの認識が示された。

和解の成立は2月21日になる見通し。当初、損害賠償額は1千175万円だったが、今回の和解で220万円になった。

負担額の割合については損害の公平な分担という見地から、里親2人が8、屋久島町が2の負担割合になった。町としては内容に合理性が認められる。関係当事者も早期解決のために本勧告内容での和解を望んでいる。

【町の説明】

昨年12月7日付で裁判所から和解案が提出された。

山海留學が住民発でスタートした制度であるとはいえ、町がそれに関与することになった経緯や、その具体的な関与のあり方、当制度により児童が増えることによる利益などを照らすと、町の責任を

【質疑】



真辺真紀議員 8割の

176万円は被告である里親2人が負担することになるの

か。以前の全員協議会では、町以外の負担金も町が負担したいと言っていたが。



小脇清保議員 判決で決まったものではないとい

うが、和解案を受け入れたのは、町に責任があると認めたからではないのか。

副町長 責任が全くなかったとは言っていない。裁判長も2割の責任があると言っている。

教育長 今後はこの結果を受けて、これまでのいきさつを大事にしながら留學制度を整備していく。



下野次雄議員 事あるごとに、この留學制度は町

が立ち上げたのではなく、地域が立ち上げたというが、血税を投入しているわけだから、町の責任があるという事を説明したうえで、実行委員会などで検討してもらいたい。

新庁舎移転後は役場の課などが変更になる

5月1日以降、役場は新しい機構で業務が進められるので、必要な条例制定について説明がありました

本庁舎移転に伴い、行政機構の見直しを行い、再編・統合を実施するため、関係する条例について、所要の改正をしようとするものです。組織機構改革に伴う関係条例の整理に関する条例制定についての説明がありました。



小脇議員 課が統合して課長が減る代わりに参事を置くとなっているが、参事職は恒久的に置くのか。

総務課長 特命参事として置く。その業務が終了した段階で終了する。恒久的に置くわけではない。



大角利成議員 新しい条例を制定することで、既存の条例の本身はおのずと変わるのか。そうなる根拠はどこにあるのか。

【町の説明】

4月いっぱいについては現課で現体制をとる。新機構への移行は新庁舎の引越と同時にする。

5月1日に本庁舎を新庁舎の住所に移すと同時に、新機構によって業務を進めたいと考えている。

現在、宮之浦支所、安房支所、尾之間支所と『支所』という取り扱いをしているが、『出張所』という取り扱いに改める。

総務課長 組織機構の改革に伴って、他の条例も変わってくるという考え方に立つと、「条例の整理に関する条例を制定する」形で整備するのが普通だと、外部の専門家から指導を受けた。

臨時会

あらまし

2月8日、平成31年第1回臨時会が開催され、上程された8件の議案は、すべて原案の通りに可決された。

議案

庁舎建設工事請負変更契約締結4件損害賠償請求事件の損害賠償請求を定め和解すること
屋久島町組織機構改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
一般会計補正予算(第6号)
介護保険事業特別会計補正予算(第4号)

庁舎建設工事の変更による増減

▼鉄筋工事、コンクリート工事他 308万9千円増額
▼給水工事、空調工事、雨水工事他 495万1千円増額
▼幹線工事、コンセント工事他 373万4千円増額
▽議会棟の鉄筋工事、型枠工事、コンクリート工事他 426万5千円減額

庁舎建設契約変更が多い



小脇清保議員 事務棟には

10か所以上のクラック(亀裂)があると聞く。予算はいくらで

誰の責任で支払うのか。

庁舎建設推進室長 クラック(亀裂)

は14か所。原因は、今回の場合はコンクリートの乾燥・収縮であると判断。クラックの平均値は0.2ミ程度で構造的にも問題ないと判断。また施工上の不具合ではないと判断し、補修費用約30万円を今回の変更の中で支払った。

小脇議員 契約変更が多すぎる。設計ミスではないか。

庁舎建設推進室長 120%の設計を

している。 unnecessaryなものは削り、必要なものはプラスしていく。
小脇議員 建設費が総額24億円を超えることはないのか。

庁舎建設推進室長 今現在で

23億6千万円。決算ができた段階で知らせる。

スクールバス補助金の返納



大角利成議員 教育費の

895万円は、新聞でも報道があつたスクールバスの補助金の国庫への返納か。

教育総務課長 過大に交付を受けていた補助金を返納するもの。

平成29年に受けた会計検査院の实地検査で、過大に補助金が交付されており不当とされ、昨年、県よりは正するよう通知を受けた。

原因は、平成23年4月と、平成25年4月に、旧小瀬田中学校と旧永田中学校を統合して設置した中央中学校に通う生徒の内、当該補助金の対象となる生徒についての理解が不十分で、数を誤ったため。
平成25年から28年度までの4年間で総額895万円の、僻地児童生徒援助費等補助金、遠距離通学補助金を国庫に返納する。

広報誌についてのご意見を ありがとうございました



頂いたご意見を紹介します。紙面の都合上、抜粋させて頂きました。今後も、分かりやすい議会だよりの編集に取り組みます。

意見募集の呼びかけにこたえたいと思います。3点あります。まず、校正ミスです。

1つだけ見つけました。

次に、P15とP20のフェリー太陽の新船の重複は避けるべきでは。常任委員会と全員協議会で違うことも分かりますが、まとめた方がいいと思います。その分、他のことを扱えると思うのですが。

最後に、斬新な構成となり、24ページに増え、意欲が伝わります。文字数が多くて、とりつきにくいのですが、内容がとてもよく分かりました。注釈もいいですね。

さらに、傍聴者の声を掲載してほしいと思います。

一 湊 前原昌和様

内容がよりわかりやすく読みやすくなってきたと感じています。
発言の前に町議の名前と顔写真がしっかりと示され、みなさまのお仕事が全町民に広報されることは、私達町民にとっては大変嬉しいことです。

町議さんや町職員は、多くの町民にとって、家族・親戚やお友達であり、顔なじみのご近所さんです。このような広報がなされることで、町政の諸々がより身近な、自分自身に直接関係する事柄として実感しやすくなります。

みなさまの温かみや息遣いを感じられるような議会だよりを楽しみにしております。

宮之浦 安部弥生様

「あなたの笑顔が宝もの」はい言葉だと思いました。私も仕事頑張ろうと思います。

平内 岩川絹代様

(福祉施設紹介の記事で)

3名の方に2千円の図書券を進呈しました

社会福祉法人淳成会 特別養護老人ホーム竜天園

船行

全力で最期まで見守らせて頂く誇り

老人ホームがなかった町に

社会福祉法人淳成会、特別養護老人ホーム竜天園は昭和61年（1986）に開設しました。

開設に至る経緯は、当時高齢化社会が進んでいく中で屋久島に老人ホームは一つも無く、高齢化社会に対応できる施設を作りたい、地域の方々の力になりたいという強い思いで、10年がかりの計画で開

設に至りました。

開設当初は、定員50名、短期入所2名の施設でした。在宅介護の負担軽減や独居で日常生活が困難な方々が、安心して生活できる場所を目指してスタートしました。

その頃の地域の方には、暗いイメージのなじみの薄い存在だったかもしれません。その後平成23年には施設を増築し定員を50名から70名へ、短期入所を2名から7名、そして12名と増床しました。今では明るく、開かれた施設になりました。

少しでも楽しい時間を

施設では年間を通して、御利用者の皆様が楽しめる行事を開催しています。春はレク



夏の納涼祭

リエーション大会、夏は納涼祭、秋は敬老会、冬はクリスマス会等、家族会の皆様とも協力して一緒に楽しめる行事を企画実行しています。

変わらない日々の中で少しでも楽しい時間が持てるように、外出、外泊もご家族とご相談の上、出来る限り援助させて頂いています。

又、施設の特徴としては御



レクリエーションにて

利用者が終末を迎えられた際、ご自宅に帰られるか、住み慣れた場所で皆と一緒に最期まで施設で過ごされるか選択ができます。

介護・看護のスタッフが全力で最期まで見守り、送らせて頂けることは、私達にとって大変うれしく誇りに感じている事です。

地域の中核施設として

これからも、地域の中核施設としての機能強化、活気あふれる施設づくり、御利用者お一人おひとりが安心して暮らせる環境作りを目標に、職員一丸となって取り組んでいきますので、地域の皆様のご見守り、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

議会の傍聴に

お越しください

だれでも自由に傍聴できます。受付簿に住所、氏名をご記入いただくだけです。

▼6月1日～11月30日

宮之浦支所議場

▼12月1日～5月31日

尾之岡支所議場

編集後記

11月に議会と住民との意見交換の場でたくさんの方の声を聞かせて頂きました。ゴミ処理に関しては、施設そのものの議論も重要ですが、そもそも『ごみとは?』という事なども話していきたいものです。そこには屋久島の子どもたちも加わってらる。今は理想的でない形ですが、それ自体を宝にできたら最高の教育になると思っています。（真紀）

編集責任者

議会広報委員会

委員長 真辺真紀

副委員長 渡辺千護

委員 下野次雄

委員 小脇清保

発行責任者

議長 岩川俊広